

職員による自己評価

環境・体制整備

- ・活動を分けたり、外出をしたりして対応している

業務改善

- ・研修会などコロナの影響であまり行えていない

適切な支援の提供

- ・こどもの適応行動の状況を図るためのアセスメントツールが確立していない

関係機関や保護者との連携

- ・医療的ケアは行っていない
- ・コロナ渦で交流は行っていない

保護者への説明責任・信頼関係

- ・交流会（運動会・クリスマス会・シティウォーク）等を企画しているが、今年はコロナ渦で中止になった

非常対応

- ・事業所として年2回の避難訓練を実施している
- ・緊急時対応マニュアルを見直していく
- ・やむを得ない身体拘束など保護者とスタッフ間での共通理解を再度確認する。

保護者による評価

環境面

- ・コロナの時期としてはスペースなど十分とは言えないが外出などをして対策しているので良いと思う

児童への支援内容

- ・ハートリンクを利用している児童以外との交流はコロナのある現状ではできなくても仕方がない。逆になくても良い。

保護者への説明等

- ・保護者会などはコロナのある現状で開かれてない
- ・特に苦情などはない
- ・活動報告やブログなど楽しみにしている

非常の対応

満足度

- ・利用者の幅が広く、全てのニーズに応えることは難しいと考える
- ・細やかな配慮と様々な活動を通して子供の成長を実感している
- ・子供がいつも本当に楽しみにして通わせていただいている。細やかな配慮にいつも感謝している

事業所内での分析

【共通点】

- ・児童が楽しみにして事業所を利用している
- ・コロナ渦により、保護者会や季節のイベントなどが行えない
- ・室内活動時のスペースはコロナ渦では十分とは言えないが、外出などで工夫しながら対策している

【相違点】

- ・災害時などの連絡網が確立していない

分析・検討してみても…

事業所の強み

ウォーキングをメインに体を動かし規則正しい生活を送れるようご家族と密に連絡を取り支援している

個別に支援した方がよい活動などは、スタッフが個別に対応する時間を作っている

児童の支援をしていくうえで、ご家族や関係機関との連携を図って支援を進めている

プログラムに講師の時間を取り、児童の多様性の強化を図っている

事業所の改善点

災害時のマニュアルなど保護者の方への説明をしっかりとっていく

災害など非常時での保護者との連絡網を確立する

事業所の改善への取り組み

- ・児童が落ち着かない時などは個別に個室で対応する、音などが気になる場合にはウォーキングに出るなどの対応をしていく
- ・今後も活動が固定化されないようスタッフで話し合いをしていく
- ・避難訓練などはブログなどを利用し伝えていく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

ご意見欄にご家庭から多くのご意見をいただきありがとうございました。

頂いたご意見をもとに災害など緊急時の対応の仕方やコロナ渦での活動内容など、事業所としての改善点と強みを再認識することができました。これからも安心して通所して頂ける施設を目指してスタッフ間での情報共有や保護者との連携を深めていきたいと思っております。